

社外取締役メッセージ

“ 「アセットライト化」の必要性を  
丁寧に説明することが重要だと考えます。

次の中期経営計画では、「アセットライト化」と「デジタルトランスフォーメーション」を通じて競争力を高め、持続的な成長を目指すことが明示されています。これらは方法論であり、それ自体が目的となるものではありません。それらのキーワードが一人歩きしないためにも、概念を明確にし、なぜ必要なのかやゴール像を丁寧にしっかりと従業員および投資家に説明することが重要です。一方、ASVの取り組みや働き方改革が会社の成長に結びついていることをきちんと見せることに期待しています。

社外取締役 齋藤 泰雄



“ 短期・長期に達成すべきことを明確化し、  
徹底して実践することが必要です。

変化が激しい時代において重要なのは、長期(2030~2050年)に実現すべき方向性を明確にし、そのためにいま着手すべきことを具体論で描き、徹底して実践していくことです。味の素グループでいえば、短期的に実践すべき経営課題はアセットライト化と生産性の革新スピード・スケールの改善です。長期的には味の素グループ独自の成長のアルゴリズム(方程式)を型紙化すべきであり、そのためには次世代経営人材の育成・獲得が必須です。特に、外部人材を経営レベルに積極登用する必要があると考えます。

社外取締役 名和 高司



“ 行政や企業経営等の経験を活かして、  
企業価値向上に貢献していきます。

2019年6月に社外取締役に就任しましたが、これまでの行政経験、企業経営経験、非営利団体での活動経験、女性としての生活経験等を活かして、企業価値向上に貢献していきます。執行から独立した立場で経営を監督するため、まず味の素グループへの理解を深めた上で、取締役会において積極的に発言するとともに、反対すべきことがあれば躊躇せずに反対意見を述べたいと思います。また、ダイバーシティの推進、働き方改革、CSV経営等、私が経験を積んできた分野については、経営陣に対するアドバイス等を通じてお役に立ちたいと考えています。

社外取締役 岩田 喜美枝

